

特257
282

新皇軍艦



始



特 257
282



軍艦



皇軍艦

本洲子
敷島の心を人とす。朝日よに
山桜。その名所よ呼ばれたる。吉野初瀬乃
花よりも射けさき浪速比梅の芳き
名を子来まで残さんとまよ大島也。
皇國を守る丈夫が心赤城の岩躑躅。

(皇軍艦二)

悔。思。深。高。龍。田。の。秋。乃。也。
錦乃清旗。日の清旗。月かげ清る。頂磨
明石。ふ。さ。け。見。春。日。なる。三。笠。よ
あら。吾。妻。路。や。武。花。多。代。田。に。お。居。ま。す。
皇。帝。乃。詔。下。る。お。そ。と。松。島。也。扶
来。よ。仇。な。も。醜。夷。ち。ち。び。げ。ん。時。は。ま。ぬ。

三ノリ
ハ雲（や）なら出雲（いづも）ハ重（かさ）がきハ重山（かさやま）やハ
島（しま）の外（ほか）ノ岡（おか）えたる。名（な）も高（たか）子穂（こほ）ノ山（やま）
士（し）淺（あ）間（ま）。豈（あ）置（さ）葛（く）球（き）彩（さい）高（たか）や。比（ひ）獻（けん）也
志（た）大（だ）山（やま）よりも。動（う）かぬす。勇（ゆう）し。逆（さか）
ま。波（な）の海門（かいもん）。天龍（てんりゅう）躍（おど）る。黒烟（くろけがり）
あ。水（みづ）びや。方（あた）は千早（ちしや）。神（か）乃（み）清風（せいふう）に
（皇軍 禮三）

其（その）むし。寇（こう）を筑紫（つくし）の沖（おき）をえ。對
馬（ま）を跡（あと）の宮古路（みやこぢ）も。遠（と）く和泉（いづみ）乃
軍艦（い）大君（おほ）乃（み）津（つ）のげ。仰（あ）ぐん。筑波山（つくはま）
津（つ）稜威（りやうゐ）も。こも。て。巖（いわ）島（しま）。楠（くすの）式（しき）の美（み）秀（ひで）
瞻（かん）忠（ちゆう）魂（こん）此（こゝ）。今（いま）も。龍（りゆう）らん。至（し）剛（かう）乃（み）
う。ま。俣（ま）ハ。磐（い）珠（しゆ）。磐（い）石（せき）。天城（あまぎ）鳥（とり）海（かい）摩（ま）

耶宇治豊橋。水ら流る。渡を橋立の。
外らいぬる。黄海乃。戦勝て獲たる。
龍。日章旗掲げらる。孰をおとらぬ。
勇武乃。縁種。室を蔽へる。葦雲ハ。
國を守の神寶。朝夕。雲霧の徒間。
より。就る氏族影。曉げよ。みる如集。
(皇甲 卷三)

白鷺。鳥。燕は。浪をぬひ。霞乃。
中。み。お。り。て。行。方。を。夫。と。白。雲。の。空。
飛ぶ。とき。鶴。真。鶴。逸。速。鳥。也。
氣も。春。雨。採。海。燈。乃。電。も。鳴。る。
砲。考。乃。雷。也。日。者。を。あ。ら。ふ。白。雨。也。
一村。雨。の。心。地。一。了。何。か。悔。き。國。の。為。

進むを知て退くも皆不知に傷ハ
實に陽炎乃如く瞬くしよは敵
船を撃沈めつ東雲の曙ちりき
海多山凱陣たる振仰ぐ東の
方薄雲あり色も曉茜を連立
船潮は悠々と揚るかして云

(皇軍報 日)

思志ら玉か何ぞと人の向し時露と
若くして消たん玉の行末はも憫なり
實に有難や秋津渺乃皇國は運ハ
日に進み譽はいと高砂乃常夜
松乃衣代ハ衣代久しかれとぞ祝ふ國民

昭和四年五月十日 筆工 定價 參拾錢
昭和四年五月二十日 發行

大阪市天王寺區堀越町一八

筆工部 代表者 喜多源章

大阪市北區都島昭栄通り

發行元 亞細亞書店

肉筆書籍部 振替大阪八五四六番

大取次 株式會社 東枝書店

京都 大阪 神戸 大津

324
118

大東家 總辦 東 財 書 上 吉

大馬路 大新 入新

全書 一 亞 西 里 書 局 印

大東家 總辦 東 財 書 上 吉
全書 一 亞 西 里 書 局 印

大東家 總辦 東 財 書 上 吉
全書 一 亞 西 里 書 局 印



終

